

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)ベルタウン大井南SC店 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目										
Q 建築物の環境品質										2.5
Q1 室内環境							0.40			2.9
1 音環境						3.0	0.15			3.0
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40			
1.2 遮音						3.0	0.40			
1 開口部遮音性能						3.0	1.00			
2 界壁遮音性能										
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音						3.0	0.20			
2 温熱環境						2.6	0.35			2.6
2.1 室温制御						3.0	0.50			
1 室温						3.0	0.50			
2 外皮性能						3.0	0.17	3.0		
3 ゾーン別制御性						3.0	0.33			
2.2 湿度制御						1.0	0.20			
2.3 空調方式						3.0	0.30			
3 光・視環境						3.0	0.25			3.0
3.1 昼光利用						3.0	0.50			
1 昼光率										
2 方位別開口										
3 昼光利用設備						3.0	1.00			
3.2 グレア対策										
1 昼光制御										
3.3 照度										
3.4 照明制御						3.0	0.50			
4 空気質環境						3.5	0.25			3.5
4.1 発生源対策						4.0	0.50			
1 化学汚染物質		内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用				4.0	1.00			
4.2 換気						3.0	0.30			
1 換気量						3.0	0.50			
2 自然換気性能										
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50			
4.3 運用管理						3.0	0.20			
1 CO ₂ の監視						3.0	0.50			
2 喫煙の制御						3.0	0.50			
Q2 サービス性能							0.30			3.2
1 機能性						3.2	0.40			3.2
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40			
1 広さ・収納性										
2 高度情報通信設備対応										
3 バリアフリー計画						3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性						3.3	0.30			
1 広さ感・景観		売場の天井高3.6m以上				5.0	0.33	4.0		
2 リフレッシュスペース		休憩室が執務スペースの1%以上				4.0	0.33			
3 内装計画						1.0	0.33			
1.3 維持管理						3.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		取り組みにおいて該当する項目数が標準以上である				4.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性						2.8	0.30			2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						2.9	0.30			
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		厨房ダクトをステンレスとしている。				4.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20			
2.4 信頼性						2.6	0.20			
1 空調・換気設備						3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備						2.0	0.20			
3 電気設備						3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20			
5 通信・情報設備						2.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.6	0.30				3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30				
1	階高のゆとり	階高5.7m	5.0	0.60				
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.077	5.0	0.40				
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30				
3.3 設備の更新性			3.0	0.40				
1	空調配管の更新性		3.0	0.20				
2	給排水管の更新性		3.0	0.20				
3	電気配線の更新性		3.0	0.10				
4	通信配線の更新性		3.0	0.10				
5	設備機器の更新性		3.0	0.20				
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20				
Q3: 室外環境(敷地内)			-	0.30				1.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30				1.0
2 まちなみ・景観への配慮			1.0	0.40				1.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30				1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上			1.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性								3.5
LR1 エネルギー			-	0.40				4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.84	4.6	0.20				4.6
2 自然エネルギー利用		太陽光パネルの設置	4.0	0.10				4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm]= 0.74	4.2	0.50				4.2
4 効率的運用			3.0	0.20				3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00				
4.1	モニタリング		3.0	0.50				
4.2	運用管理体制		3.0	0.50				
集合住宅の評価			-	-				
4.1	モニタリング		-	-				
4.2	運用管理体制		-	-				
LR2 資源・マテリアル			-	0.30				3.0
1 水資源保護			3.4	0.20				3.4
1.1 節水		節水型便器の採用	4.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60				
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70				
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30				
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.60				2.7
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10				
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20				
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げ材が容易に分別可能 LGS	4.0	0.20				
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20				3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30				
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70				
1	消火剤		-	-				
2	発泡剤(断熱材等)	発泡剤を用いた断熱材等を使用していない	5.0	0.50				
3	冷媒		3.0	0.50				
LR3 敷地外環境			-	0.30				3.5
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=76%	3.9	0.33				3.9
2 地域環境への配慮			3.3	0.33				3.3
2.1 大気汚染防止		燃焼機器使用無し	5.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25				
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25				
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25				
3	交通負荷抑制		3.0	0.25				
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25				
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33				3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40				
1	騒音		3.0	1.00				
2	振動		-	-				
3	悪臭		-	-				
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40				
1	風害の抑制		3.0	0.70				
2	砂塵の抑制		1.0	-				
3	日照障害の抑制		3.0	0.30				
3.3 光害の抑制			4.4	0.20				
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害チェックリストの項目の過半を満たし広告物照明にも配慮。	5.0	0.70				
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30				